

三ツ峠 (12月山行)

2012年12月2日 リーダー: 豊島 泰



↑母の白滝をバックに

三ツ峠 山行報告 豊島 泰

伊藤会長他へ「三ツ峠が入山不可の場合の代替案」の案出などもお願いし、春日部観光さんへも、行き先が変更になる可能性がある旨を再三FAX…。

11月末の金曜日。Webにも「12/3から県道閉鎖」と掲示され、降雪なきよう祈り、また、あと数日の好天を固唾を呑んで過ごしました。

さて当日は、午後から曇りとの予報でしたが、河口湖へ近づくにつれ車中から「冬富士」の姿も見られ、バスも無事「登山口」まで到着できて一安心。バスは日帰り入浴の「天水」にて待機してもらう。(この、「バスの待機場所の選定」も、何時もながら悩みます。)

そして歩きだすこと2時間弱。だんだん空には灰色の雲がかかり、道も徐々に雪まみれとなり難儀な歩行となる。やっと着いた「四季楽園」の小屋前で、待機組とわかれ、さらに頂上を目指す。頂上は、日本一の富士展望の山、開運山(1,785m)。

しかしながら、富士山も見えないので早々に下って待機組と合流して昼食。ここでは松浦氏の暖房ギアが大活躍。沸かした湯にて各々カップ麺やカップみそ汁などで身体を温める。

昼食後、冷えないうちに歩行時間の一番短い「母の白滝」を下山路と定め、歩き出す。ここも難儀な下り道で、草に隠れた霜柱に足をとられ尻モチつくこと十数回。幾度か林道を横切り、雪もちらほらする中いいかげん飽きた頃、沢音を耳にし、パワースポットで売り出し中の「母の白滝」に到着。

水辺のイオンの影響か、元気を頂ける気がする。滝にも打たれたい気持ち。雪の振る中、滝の前で記念撮影。

その後は、程なく湖畔の国道に面した「河口浅間神社」から、バスで温泉へと向かうのだが、この「河口浅間神社」の七本杉がまことに見事。こちらもパワースポットとして売り出し中らしく、思いがけなく巨大樹木に巡礼できた。

以上、「開運」岳から母の白滝へ到る、パワースポット巡りの山旅報告。

個人的には、下りの鉄塔手前でちょっとうんも着いたし、笹トンネル事故の影響も殆どなくて、まことに幸運な山行となりました。

……「年末ジャンボ」買いに行かなきゃ!

遊友に若いメンバーが増えてきた↓



→

四季楽園前にて→



12月山行「三ツ峠」に参加して 戸邊 茂雄

今回の山行は三ツ峠です。三ツ峠は、山梨県都留市、西桂町、富士河口湖町の境界にある開運山(1,785m)、御巣鷹山(1,775m)、木無山(1,732m)の3つの頂上の総称です。古くは奈良時代から修験道の靈山としても知られ、パワースポットの宝庫です。山頂からの雄大な富士山の眺めは格別で、山梨百名山中人気No.1と言われております。

朝6:00にせんげん台組8名、6:15に春日部組12名、合計20名を乗せてバスは出発しました。今日の運転手は初顔の山崎さんです。国道16号を進み、7:10に桶川・北本ICから高速に入りました。お天気も良く、バスの中から富士山がはっきり見えました。午後からは天候がぐずれるとの予報もありましたが、雄大な富士山の眺めに期待をしておりました。しばらくして中央道を進んでいる時、中央道の笹

子トンネルで天上板の崩落事故があったというニュースが飛び込んできました。驚きと共に心配になりましたが、バスは進み8:50に河口湖ICで高速を降りて三ツ峠登山口へと向かいました。この間も雪に覆われた富士山を間近に

見ることができました。しかし、富士山を拝めたのはここまででした。9:30に登山口バス停に到着した時には晴れから曇りに変わっており、もう富士山の姿は雲に隠れてしまいました。

バスを降りてから15分ほど歩いて登山口に到着です。そこで恒例の準備体操を行ってから9:50に登山を開始しましたが、もう下山してくる人もおりました。登山口の標高は約1,300mです。昨日降ったと思われる雪もあり、霜柱の高さは5cm位ありました。登るにつれて積雪も多くなり寒さも厳しくなりました。また、すれ違う下山者からは、富士山も見えないし、天候もだんだん悪くなるから引き返した方がいいなどとも言われました。歩くこと約2時間、11:30に山頂の手前にある四季楽園(標高約1,720m)に到着しました。何名かはここに残って、お湯を沸かしたりし、14名が頂上へ行き記念写真を撮りました。勿論、富士山の姿はありません。頂上の岩場で1羽の「イフヒバリ」を見かけました。人を恐れない様子ですぐそばまで近づいてきました。その後、お昼を食べ12:30に下山開始です。三ツ峠の

登山ルートは4つあり、下山は河口浅間神社に下りるルートを選択しました。この頃から雪がぱらつきだし、徐々にその量が増してきました。霜柱や落ち葉で足元が滑りやすく、転ぶ人も何人かおりました。黙々と歩いて14:50頃に母の白滝という場所まで来ました。まだ3時前だというのに、薄暗くて写真を撮るのにフラッシュが必要でした。そして15:30にバスが待つゴール地点の河口浅間神社に到着しました。この神社には七本杉という杉の大木がありましたが、その杉の太さに驚きました。お賽銭をあげて無事の下山にお礼をしました。

この後は、冷えた身体を温めるべく温泉入浴です。車で10分ほど行った所にある河口湖温泉の元湯「野天風呂 天水」に入りました。15:40~16:55まで温泉に浸かり、ビールを飲んで休憩した後はコンビニでお酒とおつまみを調達し、一路春日部へとなりますが、今朝起きた笹子トンネルでの天上板崩落事故での道路情報が気になりました。しかし、我々の帰路には影響がなく、19:20に桶川・北本IC、春日部には20:15、せんげん台には20:30に到着です。そして、せんげん台組はいつものように中華食堂で反省会を行って、今回はちょっと早く21:50に帰宅しました。こちらは雨でした。

今回の山行は、肝心の富士山が眺望できませんでしたが、仲間との楽しい山行となり満足しております。豊島リーダーはじめ皆様ありがとうございました。



↑開運山の山頂にて

1月山行の案内

金山(239m)と七福神めぐり

金山遠景 ↓

今回は江戸時代後期から庶民に伝えられた群馬県太田市の金山山麓の由緒あるお寺に祀られた七福神巡りで福運を願い、新田神社がある金山に登って城の史跡を見学し、ハイキングした後は七福神にちなんだ日帰り温泉で新年を過ごしましょう。

【日時】1月20日(日)

【集合】せんげん台東口駅前6時45分、春日部西口駅前7時00分、各発

【持ち物】昼食、雨具、風呂の用意、ハイキング支度、防寒対応、お賽銭

【申込み】(標高が低いが山道です靴はハイキング用を)

【歩程】合計3時間位、バスハイク併用あり

(エントリー12月16日の総会後に現在定員28名になりました)

担当リーダー:藤井一義 (最終案内は掲示板1月6日予定を必見)



金山城 大手虎口→